

Fリーグオーシャンカップ2022 試合実施要領

第1条【趣 旨】

本実施要領は、Fリーグオーシャンカップ2022（以下、「本大会」という。）の試合（以下、「試合」という。）の実施に関して定めるものとする。試合の実施に関して本要領に定めのない事項については『Fリーグ2022-2023 試合実施要領』を準用する。

第2条【大会方式】

1. 本大会は、Fリーグに加盟する21チームを含む以下の22チームが参加する。
エスポラーダ北海道、ヴォスクオーレ仙台、マルバ水戸FC、バルドラール浦安、リガーレヴィア葛飾、フウガドールすみだ、しながわシティ、立川・府中アスレティックFC、ペスカドーラ町田、Y. S. C. C. 横浜、湘南ベルマーレ、ポアルース長野、ヴィンセドール白山、アグレミーナ浜松、名古屋オーシャンズ、シュライカー大阪、デウソン神戸、広島エフ・ドウ、ポルセイド浜田、ボルクバレット北九州、バサジィ大分（以上Fリーグ加盟チーム）、U-19フットサル日本代表
2. ノックアウト方式で行う。

第3条【試合の主催等】

試合は、すべて公益財団法人日本サッカー協会（以下、「協会」という。）及び一般社団法人日本フットサルトップリーグ（以下、「JFT」という。）が主催し、Fリーグが主管し、一般財団法人日本フットサル連盟（以下、「連盟」という。）が後援する。

第4条【試合日、会場】

1. 試合は、以下の日程にて開催される。

(1) 1回戦～3回戦	2022年5月25日（水）～5月27日（金）
(4) 準決勝：	2022年6月4日（土）
(5) 3位決定戦・決勝：	2022年6月5日（日）
2. 試合会場は、以下の会場にて開催される。

(1) 1回戦～3回戦：	エスフォルタアリーナ八王子（東京都八王子市）
(2) 準決勝・3位決定戦・決勝：	駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場（東京都世田谷区）

第5条【届出義務】

1. クラブは、2022年5月10日（火）までに選手及びチームスタッフ（監督、コーチ、ドクター等）を所定の方法によりFリーグ事務局に届け出なければならない。
2. 前項の期日以降、本大会における選手の登録は受け付けない。
3. 選手は、監督の届出と重複することはできない。
4. 前項で登録できる選手の人数は20名以内とする。
5. チームスタッフは10名以内とする。ただし、実行委員（代理も含む）、運営委員（代理も含む）、広報委員（代理も含む）（以下、「クラブ役員」という。）は別扱いとする。

第6条【出場資格】

1. 協会の「フットサル選手の登録と移籍等に関する規則」に基づき協会への選手登録を完了し、かつ、Fリーグへの届出を完了した選手のみが試合への出場資格を有する。
2. Fクラブの2種チームに所属し、次の各号の条件を満たした選手には、所属するFクラブが参加する試合への出場資格が与えられる。
 - (1) 当該2種チームが、協会にクラブ申請されていること
 - (2) 第14条の定めに従いFリーグに「Fリーグメディカルチェック報告書」が提出されていること
 - (3) 選手が18歳未満である場合、ドーピング検査実施に関する親権者の同意書が提出されていること
 - (4) 要項第97条に定めるFリーグ登録されていること
3. 選手は、試合出場に際し、協会に選手登録していることを証明しなければならない。

第7条【出場資格を得るための追加登録期限】

2022年5月10日（火）までに協会への選手登録及びFリーグ登録を完了した選手のみが、試合への出場資格を有する。

第8条【外国籍選手】

1. チームに登録することができる外国籍選手は1チーム3名以内とする。外国籍選手は常時2名までピッチ上でプレーすることができる。
2. 前項各号に違反する行為は、試合終了後に主審及びマッチコミッショナーから報告を受けたJFT規律・裁定委員会により処分を決定される。

第9条【試合エントリー選手の人数】

各試合にエントリーできる選手の人数は、1チームあたり14名とする。このうち、少なくとも1名は、23才以下(1999年4月2日以降生まれ)の日本国籍選手としなければならない。

第10条【ユニフォーム等】

1. 試合で着用するユニフォームは、ユニフォーム要領にもとづき、各チームにて作成する。
2. チームのキャプテンは、キャプテンであることを明確に表示するアームバンドを着用しなければならない。

第11条【フロア内のクラブ要員】

1. フロア上に用意されたベンチには、第5条に定める届け出を行った者のうち、「メンバー提出用紙」に記載されたチームスタッフ6名まで、交代要員9名までの合計最大15名が着席できる。
2. ベンチ内での喫煙及びフロア上での水以外の飲食は禁止する。
3. 交代要員は、試合進行に影響を及ぼさないようシャツの上からユニフォームと異なる色のビブスを着用すること。
4. 出場チームは、協会及びFリーグの決定により、ベンチ入りを停止された者、出場停止処分を受けた者、または、試合中に主審により退場もしくは退席を命じられた者をベンチ入りさせてはならない。
5. 退席を命じられたチームスタッフはフロア内に留まってはならず、選手等への指示を出してはならない。また、協会及びFリーグの決定によりベンチ入りを停止されたチームスタッフは、観客席以外に立ち入ってはならない。
6. 主審が選手の負傷等により試合を中断し、チームスタッフの立ち入りを認める旨の合図をした場合に、チームスタッフは、2名に限りピッチ内に立ち入ることができる。ただし、このスタッフは可及的速やかに負傷の程度を判断したうえピッチ外に退去しなければならない。
7. 前各項に違反する行為は、主審により排除されるものとし、試合終了後に主審から報告を受けた協会及びJFT規律・裁定委員会より処分を決定される。
8. クラブの役員が、原則試合時にチームスタッフとしてベンチに着席することはできない。

第12条【テクニカルエリアの使用】

あらかじめ「メンバー提出用紙」に記載されたチームスタッフのうち、その都度ただ1名のみが、試合中テクニカルエリア内において、指示を出すことができる。

第13条【試合時間ならびに試合の勝敗の決定】

1. 試合は40分間(第1・第2ピリオド各20分ブレイキングタイム)で行う。
2. ハーフタイムのインターバルは15分間とし、15分を超えてはならない。
3. 40分間が終了した時点で勝敗が決しない場合、ペナルティーキック方式にて勝者を決定する。準決勝、3位決定戦及び決勝は、10分間(延長第1・第2ピリオド各5分間)の延長戦を行い、それでも決しない場合、ペナルティーキック方式にて勝者を決定する。
4. ペナルティーキック方式の前のインターバルは1分間とする。
5. 延長戦の前のインターバルは2分間とする。

第14条【試合球】

Fリーグは、キックオフ時刻120分前までにFリーグが指定する試合球を5球以上用意し、試合をマルチボールシステムにて行う。

第15条【メンバー提出】

1. 出場チームは、キックオフ時刻の110分前までに「メンバー提出用紙」に必要事項を記入し、選手証とともにFリーグの運営担当に提出し、試合エントリーを完了しなければならない。
※選手証とは、協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
2. 試合エントリー完了後からキックオフ時刻までの間における選手の変更は、負傷または急病等やむを得ない事情がありかつ、主審及びマッチコミッショナーの承認を得た場合に限り認められる。
3. 選手等の変更は、次の各号のとおり行うこととする。
 - (1) 本要領第5条に基づきFリーグ事務局に届け出され、当日出場可能な選手の中から新たな選手を補充する。
 - (2) 新たな選手の補充はしない。

第16条【出場停止処分】

1. 本大会期間中、異なる試合で警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
2. 3回戦終了後に累積警告が1回の場合、その警告は準決勝に持ち越さない。
3. 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。その後の措置はJFT規律・裁定委員会で、決定する。

第17条【遠征費用】

各クラブ所在地からアリーナまでの利用交通機関費用及び宿泊費を、1チームあたり18名分までFリーグが負担する。宿泊先の手配は原則としてFリーグにて行う。また、当日帰着できない場合は、後泊費用をFリーグが負担することがある。

第 18 条【チーム表彰】

大会における順位により、それぞれ次のとおり賞状等を授与する。

- (1) 優勝：賞状、Fリーグオーシャンカップ
- (2) 準優勝：賞状
- (3) 第 3 位：賞状

第 19 条【改廃】

本実施要領の改廃は、Fリーグ実行委員会の議決による。

以上